

内田 稔は、明治二十五年（一八九二年）福島県石川郡浅川村大字浅川字本町三十四番地に、父惣助、母ヨネの三男として生まれました。

稔の家はあまり大きな農家ではありませんでしたが、田や畑は自分の家のものでした。しかし、農家の三男坊でしたので、家に残ることができず、自分のみちは自分で切り開かなければなりませんでした。

稔は、大きくなったら軍人になろうと思っていました。稔は体が大きく、ケンカも強かったのですが、友達思いでたいへんやさしい少年でした。友達が上級生にいじめられていると、彼は上級生になぐりかかり、友達を何回も助けました。浅川小学校を卒業すると私立石川中学校（現在の学校法人石川高等学校）に進学しましたが、いろいろな都合で退学しました。それで、彼は軍人になることをあきらめました。

中学校を退学するとすぐ上京し、技術者になろうと、大宮おおみやの鉄道学校に入学しました。そこでいろいろな技術を学びました。そして明治四十四年（一九一